

第2回富良野市総合計画・総合戦略有識者会議 議事録

- 開催日時 令和4年12月27日(火)午後2時00分から午後4時30分
- 開催場所 富良野文化会館 大会議室
- 出席者 <委員>北会長、片岡委員、牛島委員、桑原委員、山本委員、糠谷委員、平間委員、小玉委員、吉中委員、寺島委員、飯沼委員、山崎委員、横井委員 (計13名)

※欠席委員 荒木委員、鈴木委員、菊地委員、石川委員、藤田委員、遠藤委員(計6名)

<事務局>関澤総務部長、山下市民生活部長、柿本保健福祉部長、北川建設水道部長、亀淵教育部長、川上経済部長、西野スマートシティ戦略室長、小笠原企画振興課長、猪股企画振興係長

<受託事業者>フラノデザイン(株) 中村、大曾根

1. 開会(午後2時00分)

- ・事務局より、シティプロモーション戦略構築業務及び総合計画伴走業務をフラノデザイン株式会社へ委託、委員の欠席委員について説明。

2. 市長挨拶

- ・第2回の富良野市総合計画総合戦略有識者会議に、それぞれご多忙のなかご出席をいただきましたことに感謝申し上げます。
- ・第6次富良野市総合計画前期基本計画は本年度末で終了することとなっております。振り返りますと「『美しい』のその先へWA!がまち、ふらの」をスローガンとしまして、ひと、しごと、まち、自然の4つのWAの事業をそれぞれ試行錯誤しながらも、一歩ずつ取組をすすめてきたところでございます。
- ・本日の会議では、前期基本計画の終了に伴い、令和5年度～令和8年度までを計画期間といたします富良野市総合計画中期基本計画の素案について、委員の皆様にご意見を伺いたいと考えております。
- ・8月に開催いたしました第1回有識者会議におきましては中期基本計画の策定の方向性をご審議、そしてご確認をいただき、その方向性をもって第6次富良野市総合計画中期基本計画(素案)を事務局で作成させていただいております。
- ・前期基本計画については、2カ年と短期間の計画となっていることから、その根幹となる考え方については踏襲することとしていますが、脱炭素の取り組み等の社会環境の変化や新たな市民ニーズを的確に反映させていただき、今後4年間の本市のまちづくりの指針として、市民と行政がともに考え、行動する共創のまちづくりを進めていく、そうした計画となるよう、期待をさせていただいているところでございます。
- ・ぜひ、忌憚のないご意見をいただき、充実した計画となるようお願い申し上げます、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

※以降は、設置条例第5条に基づき、北会長が進行。

3. 議題

- (1) 第6次富良野市総合計画中期基本計画(素案)の審議について
別添資料に基づき、小笠原企画振興課長より説明

<質疑> 特になし

- (2) 第6次富良野市総合計画【中期基本計画】の策定について
別添資料に基づき、小笠原企画振興課長より説明

<質疑・意見>
重点施策1項目ごとに質疑・意見、承認をいただく

●重点ひと①

【牛島委員】

- ・資料3素案中、「幸福度調査との相関性の高い」という表現があるが、相関性とは密接

に関わり合うという意味から、Well-Being 指標においては関係性という表現の方が適切かと考えます。

【事務局】

- ・ご指摘のとおり修正いたします。

●重点ひと②

【飯沼委員】

- ・めざす状態として地域全体で安心して子育てする環境とあるが、どのようにイメージしているのでしょうか。子育て中の方と意見交換を行っているが、安心感に欠けているという意見もあり、やさしい手を差し伸べ、本当にこのまちに暮らすことで安心し、魅力的なまちとなってほしいと考えています。また、デジタル等の表現もあるが具体的な内容が見えてこないなので、現場の見解を伺いたい。

【教育部長】

- ・めざす姿については前期基本計画より踏襲をしています。この姿については、第2期子ども・子育て支援計画の策定にあたり、保護者等へのアンケート調査の結果を踏まえたものとなっています。KPIでも設定しています「子育て環境や支援への満足度」をどう上げていくのか、課題でもありました「遊び場」「経済的支援」「医療体制の構築」等について一つ一つ前進・充実させていくことが必要と考えています。そのためにも、地域や多世代のみなさんとも協力・連携するとともに、デジタル等も活用することが必要と考えています。

【横井委員】

- ・不登校の児童生徒が全国的に増えています。精神面、身体面様々な要因はあろうかと思いますが、そうした子どもたちを富良野市へ受け入れるような施策を検討してはどうでしょうか。例えば、東山では受け入れる場所もあり、東山のこどもたちも受け入れることで成長もでき、人を呼び込むことで地域活性化も図られると考えます。

【北市長】

- ・重点施策へ取り入れることは難しいところもありますが、様々な事業展開をしていく上で、こどもたちの目線を取り入れることを意識しています。今、ご指摘いただいた点につきましては、今後の重点施策を進めていく上での視点として確認させていただきます。

【山崎委員】

- ・会議の場で何度かご質問しました、子どもたちへのALTを活用した英語のプログラムについて、長期休業中であれば実施可能という返答だったかと思いますが、その後の進捗状況についてお知らせ願います。

【教育部長】

- ・本年度の夏休みを利用いたしまして、まずは保育所で1～2回程度英語に触れあう取り組みを進めたところです。

【山崎委員】

- ・今保育所では取り組みを行っているというお話がありましたが、小学校では3年生から英語が始まります。1～2年生は狭間となっているので、何かしらの取り組み等が必要と考えます。

【教育部長】

- ・1～2年生については、総合学習等を利用して英語の取り組みを行っているところです。

【横井委員】

- ・こどもたちを育てるのには「知育・徳育・体育」が重要と言われています。徳育に関してどのように捉えているのでしょうか。

【教育部長】

- ・徳育については、心の教育・道徳的な考えについて、こどもたちが学ぶことが徳育の

一つの考え方と捉えています。

【吉中委員】

- ・こども家庭センターの設置についての記載があるが、富良野市としてどのような方向性をもって設置しようとしているのでしょうか。

【教育部長】

- ・こども家庭庁の設置に伴い、妊娠から18歳までのこどもたちを包括支援していくことを考えています。保健センター2階を改修し、こども家庭センターとこども通園センターを併設し、令和6年度から供用を開始する予定となっています。

【吉中委員】

- ・こども未来課とは別組織という理解でよろしいでしょうか。

【教育部長】

- ・こども未来課で行っている家庭児童相談と保健医療課で行っている母子相談を一体化して支援していく体制を予定しています。

- 重点ひと③
 - ・意見等なし

- 重点ひと④
 - ・意見等なし

- 重点ひと⑤
 - ・意見等なし

- 重点しごと①

【平間委員】

- ・山部地域の中学校跡地、木材会社跡地等の利活用についてどのように進んでいるのでしょうか。

【経済部長】

- ・山部中学校の跡地についてですが、ウィスキー蒸溜所を手掛けている堅展実業という会社が蒸溜所の設置を検討しており、本年度ボーリングを実施していますが、資材の高騰等により着工については、現時点で保留中となっています。

【北市長】

- ・木材会社の跡地については、民間事業者で活用を検討していただき、今の時点で具体的な話はできませんが、福祉的な形での活用も検討されていると聞いています。

【吉中委員】

- ・空き家は今後増えていくことが予想されます。きちんと調査を行い実態把握したうえで、具体的な方策を進めていくことが必要と考えます。

【建設水道部長】

- ・空き家については、令和3年度に空き家対策計画を策定するにあたり、平成30年度から実態調査を実施し、空き家と思われる箇所は711件ということがわかっています。現地調査と合わせてアンケートを実施し、困っていること、解体する意思、貸出する意思について把握しているところです。危険性などの緊急性を考慮しながら、順次対応を進めていきたいと考えています。

【飯沼委員】

- ・空き家は、老朽化や所有者の対応等、時間をおくほど対応が難しくなります。積極的にまちづくりのなかで整理を進めたほうが望ましいと考えます。

【北市長】

- ・貴重なご意見としてお伺いします。

●重点しごと②

- ・意見等なし

●重点まち①

- ・意見等なし

●重点自然①

【寺島委員】

- ・森林の維持についての記載がありますが、私が住んでいる東山地区では、落葉の山林は急激に伐採されて売られており、急斜面の耕作放棄地については荒れて、白樺や柳が生えている状況となっています。放棄した自然林も森林とみなすのか、適正な植林の実施を目指しているが、実際に60年後を見越して管理している人は少なく、お金になる状況になると売ってしまう、こうした状況で富良野市としてどうやって森林を守っていくのか。

【経済部長】

- ・富良野市では森林整備計画に基づきまして森林の管理を進めているところです。森林については、民有林、市有林等ございますが、現状整備が進んでいなく、荒れている状況もあることは把握しているところです。森林の整備については、道や市の補助等を活用しながら計画的に進めていくこととしていますが、所有者の高齢化や、富良野に住んでいない等、課題となっている点もありますが、引き続き、関係機関と連携し、森林の適切な管理に努めてまいります。

【山崎委員】

- ・主な施策のなかで、「農村地域の持続に必要な多様な主体との連携の推進」とありますが、わかりづらいので補足していただけないでしょうか。

【経済部長】

- ・農業景観を維持するためには、まずは農業をしっかりとしていかなければならないと考えています。農業の担い手についても、現在、多様な考え方、形態があるなかで、様々な団体・機関と連携を図り、農村の機能維持を図っていくことを考えています。

【飯沼委員】

- ・農村の就労支援に関しては、富良野市は他市町村と比較してハードルが高いと聞いています。このまちの景観を維持していくためには、農村地域の維持は非常に重要となります。富良野市としてのルールもあるとは思いますが、見直し等も必要ではないでしょうか。

【北市長】

- ・ご指摘いただいた点については、担い手育成機構のなかでも議論がされており、研修に入る前のハードルを一部下げている実情もあります。ただ、機構の目的でもある「農業をしっかりと続けていく」ということが大前提であり、極端にハードルを下げてしまった結果、就農できなかったということがないようにしなければなりません。現在、そのバランスをどうしていくのか議論を進めているところでございます。

【牛島委員】

- ・森林の多様な担い手という部分で言いますと、東大演習林を巻き込むことも考えてはどうでしょうか。演習林の方と話をしたときにもっと関わりを深めていきたいという話もありました。

【北市長】

- ・貴重なご意見としてお伺いします。

【横井委員】

- ・農地を一般の住宅や、教育・福祉施設にすることはできないでしょうか。

【経済部長】

- ・農地については多くの規制があり、農業委員会での手続き等もあり、簡単に転用することは難しい状況となっています。

●重点基本①

【横井委員】

- ・まちづくりについて色々と考えていて、アイデアや構想はありますが、実行するための力は私にはありません。一緒に考え、実行してくれる、また、そうした場を作るためには市のどの部署に相談すれば良いでしょうか。

【北市長】

- ・まずは関心がある分野の担当部署に相談をしていただきたいと思います。今、共創に向けた形づくりというのを進めています。その議論のなかで、専門の部署があってその中で気軽に話ができるそういったことも検討しているところでございます。

【吉中委員】

- ・現在NPOも一緒に山部太陽の里のプロジェクトを進めています。これまでと違っているのは多種多様な方が集まり、議論を積み重ねながら一歩ずつ進んでいて、とても素晴らしい取り組みと思っています。すべてのことができるとは思いませんが、ぜひこうした環境づくりを引き続き進めてほしい。

【北市長】

- ・貴重なご意見としてお伺いします。

【山崎委員】

- ・横井委員の考えに共感しています。以前の会議でも「なんでも聞いてくれる課」という話をさせていただきましたが、悩んだときにまずは窓口としてどこかの部署が受けていただき、割り振りしてもらいたいような体制があれば良いのかと思います。

【企画振興課長】

- ・相談部署の判断が難しいときは、企画振興課までご相談いただければ必要に応じて、担当部署にお繋ぎをいたします。

●重点基本②

- ・意見等なし

●重点原資①

【横井委員】

- ・先進事例から学び、成功や失敗から学ぶ、富良野の地域資源や環境の取り組みも含め、デジタルも活用しながら進めていってはどうでしょうか。

【スマートシティ戦略室長】

- ・現在世界でICT化が進んでおり、日本においてもデジタル田園都市国家構想ということで、都市と地方の差をデジタルを使って埋めていくことを進めています。富良野市としても一例ですが総合窓口では、従来は窓口に来た方が書類を書いて発行していた各種証明について、書かない窓口として、身分証明書を提示していただくことで職員が入力し印鑑証明、住民票を発行するという新たな取り組みを進めています。ほかにも職員向けのタブレットの活用や部活動のオンラインなどデジタルを使った取り組みを進めているところでございます。

【飯沼委員】

- ・未来への原資を生み出し続けるということで、ふるさと納税、宿泊税等、市外からの稼ぐことがメインとしてあるが、富良野には魅力ある農産物があり、そうした資源を利用して稼いでいく、デジタルも含めて生み出していくことも大事ではないでしょうか。

【北市長】

- ・貴重なご意見としてお伺いします。

●全体を通しての質疑・意見について

【吉中委員】

- ・ワーケーションの取り組みについて、現在は市の補助事業等により誘客等を進めているが、こうした補助等がなくなり、民間主導等に移行した場合のワーケーションの取り

組みについて憂いを感じています。また、ワーケーションの参加者からは2次交通に関してレンタカーしかないという話を聞いていて大きな課題であると聞いています。

・高齢化が進み、市内公共交通について今後どのように地域の足を確保していくのか、こうしたことも大きな課題と考えています。

【企画振興課長】

- ・現在ワーケーション実証費用助成金を活用して、市外の企業等からワーケーションの誘客を進めており、来ていただいた社員等とも関係性を深める繋がりも作っているところがございます。2次交通については、課題ということで認識しているところであり、こういったことが出来るのか、今後も探っていきたいと考えております。
- ・高齢者の足の確保については、現在地域公共交通計画を策定していますが、それぞれの地域にあった形があるかと思しますので、地域にあった公共交通体系ということを検討していきたいと考えています。

【糠谷委員】

- ・全体を通して感じたことですが、目指す状態としてそれぞれの分野で10年後のまちを考えた計画となっており、我々青年会議所は30代の集まりであり、10年後は40代とまちづくりを担う世代となってきます。計画内容は豊富であり、私たちがしっかり準備して具体的に動いていくことと、波及させていくことが必要と感じています。

【北市長】

- ・富良野市総合計画中期基本計画（素案）について、賛同いただけ方は挙手をお願いいたします。

※全委員の挙手により本計画（素案）について承認をいただく。

4. その他

(1) シティプロモーション戦略の構築について

別添資料に基づき、フラノデザイン(株)大曾根氏より説明

【横井委員】

- ・シティプロモーションを進めるうえで予算が必要と思われるのですが、国や道の補助等を積極的に活用してはどうでしょうか。

【企画振興課長】

- ・国や道の補助金をはじめ、各種団体の補助金等の制度もございますので、財源確保に向けては、アンテナを張り巡らせて利用できるものは利用するというスタンスで進めていきたいと考えています。

5. 今後の予定

- ・今後の有識者会議日程について事務局より説明
予定していた第3回有識者会議については、本日の会議で原案確定となりましたので、開催はいたしません。

6. 閉会（午後4時30分）

【北会長】

- ・長時間にわたり真摯なご議論ありがとうございます。また貴重なご意見を承りました。中期基本計画策定の事務手続きを進めさせていただきますが、気づいた点等ございましたら、事務局まで申し出いただければと思います。大事なことは皆さんと一緒に進めていくことだと思っております。引き続きのご協力をお願いいたします。